

## 二年生ゼミ毎発表！！



## 概要

自分の所属ゼミをこれから決定する一年生に向けて、二年生がこれまでに取り組んだ研究について発表する機会となりました。発表者は、約1年の研究活動を通して自分たちの研究テーマへの理解を深め、その研究成果を落ち着いて堂々と伝えていました。また、見学者は研究についてよく理解しようと努め、多くの班で活発な質疑応答が行われました。

## 物理ゼミ

発表のレベルは前回よりも格段に上がっていた。しかし、今回は質問の数が減っていたように感じた。2年生からの質問は本質を突きたいものが多かったと思う。今月末のポスター発表会ではよりよい発表、質疑応答ができるようにもっと研究を進めていきたい。

## 化学ゼミ

発言しやすい雰囲気、1年生も活発に質疑応答に参加した。操作の必要性についてや、対照実験になっているのかという難しい質問も多かった。一方で、言葉の誤用に対する指摘など基本的な所での誤りも多く、もう一度研究を見直す必要も感じた。

## 生物ゼミ

積極的に質問をしたり、熱心に話を聞いたり自らの知見を深めていこうとする姿が見られた。2年生は各班が研究内容を多くの人に知ってもらおうと身振り手振りを交えて説明していた。

## 地学ゼミ

各班ともかなり質の高い発表ができていた。質疑応答では、研究意義と研究内容の矛盾をつく質問など、今後の研究の内容を深める質問が多くみられ、聞き手の質疑のスキルの向上を感じた。

## 数学ゼミ

実験が足りないという指摘があった。質問に真摯に返答しており、皆自身の研究に対する理解が深く、積極的に参加していた。

## 情報ゼミ

5分間という短い時間に伝えたい内容を詰め込むことに苦戦していた。TA の先生からは数値が何を表しているのかを明確にした方がよいとの指摘を頂いた。

## 国語ゼミ

国語ゼミは表やグラフを使うのが難しく文字中心のポスターになりがちだが、担当の先生からの助言によりよいポスターを作成できた。発表が早く終わる班が多かったのも、もっと余裕をもって発表しても良いと感じた。





### 地歴ゼミ

仮説から結論までの論理展開や、どのような意見を押し出していくのかなど、本質に関わる重要な議論がなされていた。

### 公民ゼミ

説得力に欠ける部分がある班がいくつか見受けられたので、自分たちの研究への理解を深めることがさらに必要だと考えた。一年生も交えての発表会だったが、二年生は通常通り積極的に質疑応答を行うことができていた。一年生からも鋭い質問があり、ためになった部分が多かったので、今後の研究にいかしていきたい。

### 英語ゼミ

前回の中間発表よりも発表の質が向上しているように感じた。多くの班が自分たちの研究を理解して原稿に頼ることなく発表できていた。質疑では実験における単位を英語できちんと説明できるほど理解しているかや、英文を要約させる実験をした班ではどのように採点をしたのかなどの本質に迫ったものが度々見られた。



### 保体ゼミ

発表原稿を覚えるだけにとどまらず、自分たちの研究をしっかりと理解し、その詳しい内容を、初見の生徒や先生方がわかるように、要点をおさえ、端的に説明していた。質疑応答では、鋭い質問も多くあり、回答に詰まる場面もあったため、今後の発表に十分生かしてほしい。

### 音楽ゼミ

一回目の発表では、発表の時間配分が上手くいかなかったが、質疑応答では的確なやりとりをすることができていた。二回目の発表では、一回目の発表の反省を踏まえて発表を行うことができていた。

### 家庭ゼミ

発表時間を意識した結果、具体的な情報を省いた箇所があり、質問や感想で指摘されたため、初めて聞く人に伝えるということに気を付けて、何を伝える必要があるか判断する必要性を感じた。

### 災害研究ゼミ

どの班の発表でも学年関係なくたくさんの質問があり、質疑応答が盛り上がった。ゼミ全体としてポスターの質を高め、次回の発表会に臨めるといいと思う。



### 編集後記

全体的にどのゼミも内容に深く切り込んだ議論ができたようであった。一年生の前での発表は今回が初めてであり、新たな視点で研究を捉え直すことができたのではないかと感じる。来たる体育館での発表では今回以上に多くの人と交流し、議論を重ねることとなる。それまでに論理のねじれや構成について今一度見つめ直すべきであろう。